

# しづおか 県民児協だより



## 32

第32号  
平成28年9月1日発行

【題字：静岡県民生委員児童委員協議会顧問 天野隆玄 書】

編集発行／静岡県民生委員児童委員協議会 〒420-8670 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県社会福祉協議会内 ☎ 054-254-5224 ☎ 054-251-7508

## 安全・安心な暮らしを目指して 湖西市民生委員児童委員協議会



湖西市民児協定例会の様子

湖西市は人口6万628人の小さな市です。高齢化率は25%と県平均よりは低い状況にありますが、徐々に高齢化が進んできています。湖西市民生委員・児童委員協議会は、南部地区35名、北部地区37名、東部地区31名と、3つの法定地区民児協があり、合計103名の委員で構成されております。

民生委員・児童委員103名が一堂に会する定例会は、毎月1回、原則第2木曜日に開催されます。その定例会には、市地域福祉課、湖西市社会福祉協議会、湖西警察署生活安全課等が出席し、行政からの伝達事項や研修会等の出席報告、連絡事項、ミニ研修会等を実施し、

研鑽を重ねています。地区民児協では、委員一人ひとりの活動の他に、地域に対応した活動があります。

高齢者対象の「ふれあいいきいきサロン」では、いきいきサロンでは、委員も参加し、高齢者の安否確認をする大切な機会となつております。また、児童・生徒の登下校時の見守り、行事にも参加しています。また、ボランティアや自治会と一緒に「おしゃべりサロン」を開催し、地域の寺院の協力の下、高齢者の一人暮らしの方々にお餅を届ける活動（平成28年は153人に配布）や、中学生と高齢者の交流を通して福祉の学習をする行事に協力したりと特色のある活動をしている地域もあります。

常に民生委員信条を念頭に、地域に住まわされている方が、安全で、安心して暮らしていけるようと願いながら、支えあい活動をしていきたいと思います。



ふれあいいきいきサロン

# 平成28年度静岡県民生委員児童委員協議会総会あいさつ

**会長 越川 年**

日時 平成28年6月1日  
場所 グランシップ会議ホール「風」

皆さまこんにちは

六月に入り、新緑の美しい季節になっています。本日はご多忙の中、静岡県民生委員児童委員協議会総会のために時間を割いていただき、有難うございます。

さて、熊本地震から一か月半ほどの時間が過ぎました。しかしながら、未だに一万人に近い人々が相変わらず大きな余震が続く中、避難所、テントの中、車の中等で不自由な生活を送っています。民生委員の被害状況については、部分的な把握ではあります。民生委員の被害状況につきましても、副知事 吉林章仁様、

静岡県社会福祉協議会会长 長 櫻井 透様をはじめ多くのご来賓の皆さんには公務ご多忙の中、本総会にご臨席賜り、誠に有難うございました。また、いつも本会に対して、温かいご

支援・ご協力をいただいていることに對しまして、高い席から恐縮に存じますが、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、熊本地震から一か月半ほどの時間が過ぎました。しかしながら、未だに一万人に近い人々が相変わらず大きな余震が続く中、避難所、テントの中、車の中等で不自由な生活を送っています。民生委員の被害状況については、部分的な把握ではあります。民生委員の被害状況につきましては、心より敬意を表すると共に、厚く感謝を申し上げます。

また、副知事 吉林章仁様、静岡県社会福祉協議会会长 長 櫻井 透様をはじめ多くのご来賓の皆さんには公務ご多忙の中、本総会にご臨席賜り、誠に有難うございました。また、いつも本会に対して、温かいご

支援・ご協力をいただいていることに對しまして、高い席から恐縮に存じますが、衷心より厚く御礼申し上げます。吉林副知事



来賓として挨拶する吉林副知事

の状況については、発災直後は安否確認、炊き出し、避難所運営協力等が主であります。が、現在では、住民の支援ニーズ把握等の災害ボランティア活動への協力や在宅避難高齢者等の訪問活動、生活支援に取り組んでおられるそうです。全民児連では支援募金を実施し、被災委員へのお見舞いと被災地民児協の活動支援等に充てていただくことになります。県民児協事務局から各市町民児協に依頼が届いているかと思います。何卒ご協力方、よろしくお願い申し上げます。南海トラフ

にひずみが生じているとの報道もある中、私たち静岡県民にとっても他人事ではない地震災害ですのでも、日頃から万一一の事態に備えておくことが求められます。各民児協におかれましても、くれぐれも怠りないようお願い申し上げる次第です。



## 冒頭に挨拶する越川県民児協会長

のような状況の中、私たち民生委員・児童委員が、改めて子どもたちの問題にもう少し力を注ぐ必要性を痛感しているところです。ところで、いよいよ来年に迫った民生委員制度創設百周年の記念行事についてですが、本民児協では静岡市民児協・浜松市委員会を設けて、準備を進めて

次に、子どもの問題について触れておきたいと思います。民生委員が児童委員を兼ねることになつてから六十八年が経過していますが、今もつて活動の中心がやや高齢者に偏つてゐる傾向があることが気になつています。今、十八歳未満の子どもの六人に一人が貧困状態にあるとされており、子どもの貧困とか、貧困の連鎖と言われる所以です。最近は各地で子ども食堂や学習支援などの取り組みが行われてきています。また、児童虐待の相談件数は、県内で十年前の約四倍の二千二百件ほどに達しており、虐待やいじめに関わる自殺も報道されています。このような状況の中、私たち民生委員・児童委員が、改めて子ども問題にもう少し力を注ぐ必要性を痛感しているところです。

おり、記念大会は来年十一月二十二日にグランシップで開催することが決まっています。なお、全民児連では来年七月九日・十日の両日東京ビッグサイトで両陛下をお迎えし、一万人規模の記念大会を実施する予定です。また、この機会に、全国の二十三万人の委員全員と地区民児協を対象にモニター調査を実施し、民生委員活動の実態を明らかにする予定です。

最後になりますが、今秋は一  
齊改選を迎える。各単位民児  
協におきましては、新しい委員  
と交代される委員に対しまし  
て、引き継ぎ事項を正確に後継  
委員に伝えていただくよう、ま  
た、退任後も守秘義務について  
はご留意いただき、個人情報等  
が外部に漏れることのないよう  
よろしくご指導いただくよう、  
お願ひ申し上げます。

それでは、皆さまお一人お一人の今後のご活躍とご健勝を祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

## 函南町民生委員児童委員協議会の活動

函南町民生委員児童委員協議会 勝亦 宏子

函南町の人口は38,121人で、そのうち男性18,695人、女性19,426人、世帯数は16,864世帯で、高齢者率は29・5%となっています。そ

のような中、私たち民生委員児童委員協議会は定数75名（民生委員児童委員72名、主任児童委員3名）、全体を4部会に分け活動をしています。毎月1回の定例会では、全体会議を行い、全体研修として講師を招き30程度の事例発表等や質疑応答を交わします。住民の立場に立ちながら地域における見守り、安否確認、生活のこと。小中学校の

課や地域包括支援センターなどと連携して対応しています。最近では、親族間の関係が希薄化しており、民生委員が関わる場合が多くあります。



奈良県香芝市での研修会



奈良県香芝市での研修会

函南町民生委員児童委員協議会は、これまでに、県内では駿東郡清水町、小山村町、長泉町、県外では奈良県香芝市、先月には兵庫県淡路市に行き交流してまいりました。先月の交流では、北淡震災時、民生委員としてどう対応したかについてお話を聞きました。また、野島断層の保存館を見学し、改めて地震の怖

さを学びました。今まで取り組んできた、災害時要援護者支援計画のひとつ、災害時要支援者台帳の作成も完了し、台帳の裏面には対象者の住宅地図も載せる等の工夫をしました。

毎年行う行事としては、「ふれあい懇親会」があります。これは、1人暮らしの高齢者の方が毎年90人程参加します。ま

た、高齢者の大運動会や、毎年秋に実施される社会福祉協議会が主催する「ふれあい広場」への参加も毎年の行事となっています。



兵庫県淡路市の民生委員・児童委員のみなさんとの交流

ます。ふれあい広場では、全委員から家庭で眠っているお宝を提供していただき、バザーを開催します。4部会ありますので、部会ごとに売り場づくり、品物の値付け等を行います。毎回好評なのは、きなこ餅としょうゆ餅をセットにしたお餅の無料配布です。この餅つきは楽しみにされている方が多く、行列ができるほどです。

また、函南町民児協の委員のほぼ全員が普通救命講習Ⅱを受講し、普通救命講習終了証を取得しています。

これからも、日常問題が起きた時、相談していただける地域住民の身近な存在でいたいと思います。



ふれあい懇親会で料理を作る様子



# ひろば

こんにちわ、民生委員です



下田市  
民生委員児童委員協議会

白井 ふく子

今年は三年に一度の一斉改選の年、私の担当する地区でも委員の一人が辞められるので、気になっていたところへ、区長さんからの電話。民生委員のなり手がなかつたら、白紙で書類を出すという話を区長会で耳にしたが、それでよいのかという内容。区の資料に民生委員という役職があるのは知っているが、何をしているのかはさっぱりの様子。私達は区長さんの多忙さを知っているため、区長さんは忙しくはないが、縁の下の力持ちのような地味な活動であることを話した。どのようにするのが良いかと聞かれ、辞められる方と一緒に「この人は」と思われる方を訪問してくれるよう頼んだ。後日、6人目でなんとか受けた話を知った。

私達は民生委員信条に従い、地域で日常生活がうまくいかない人に寄り添い、少しでも生きやすい方法はないか行政や社協へ相談し、見守りを続ける。民生委員は、健康第一で、人の話を聞く事が苦にならず、相手の立場で物事を見ることができ、民児協組織の一員として、支え合い活動をすることが基本かと思う。

人はひとりぼっちでは生きられない。社会という集団の中で、いかに良く生き、終わるか。赤ちゃんからお年寄りまで、何でもありの世の中、お互い様の気持ちを忘れずに。「こんにちわ、民生委員です。」と続けている。

支えあう地域に



河津町  
民生委員児童委員協議会

横山 春子

河津町は、人口7,600人、世帯数3,300戸で自然に恵まれた町です。民生委員26名、主任児童委員2名、計28名で活動を行っています。河津町社会福祉協議会に事務局をおき、月1回の定例会と年4回の部会を実施しています。地域での活動としては、実情把握と相談や支援、他に高齢者給食サービスの配食、災害時安否確認台帳の作成や更新、歳末助け合い配分の実施、共同募金運動への協力などを実施しています。

昨年の視察研修では、姉妹都市の白馬村を訪れ、地元の民生委員との意見交換を行いました。長野北部地震では倒壊した家屋の下敷きになる人が相次いだそうですが、住民同士の助け合いによって1人の死者も出なかつたというお話を聞きました。地域の様子がよく分かっていたからとの事でした。

私たちの地域でもクリーン作戦や避難訓練など町内会の行事に参加し、顔の見える活動が必要だと感じました。このごろ親族間の関係が希薄になっていて、訪問しても連絡を取つてほしくないと想われ、地域の方のお世話になることもありました。向こう三軒両隣の支えあいを大切にしていかなければと思つております。

善の種まき・福の種まき



藤枝市  
民生委員児童委員協議会

長谷川 文子

平成27年度藤枝市民児協では「活動環境改善のための報告」という冊子を作製しました。現民生委員に対し、広く各分野にわたりアンケート調査を行い、改善するもの、提言してゆくものに分析し、今後の民生委員活動の指標となる報告書である。

昨今の複雑多岐にわたる問題、ニーズの多様化、目まぐるしく変化する制度への対応等、時代の変革から生ずる諸々の課題に振り回される感はぬぐえない。

百ページ余の冊子から見えてきたものに少し距離を置き、繁忙とされる民生委員だからこそ毎日の行動、思考の整理を日々心がけることが一つのポイントであるように思えた。又、活動の広がり、多様な繋がりに対応すべく、グループ化・統合・簡素化と行政もまた新しい支えあいの形を再構築すべき時代を迎えてはいまいか。

私たち民生委員は常に軸足は地域と共にあります。住民と共に自助、互助の新たな仕組みを自治会組織と協働してゆくことが喫緊の行動である。

普段の暮らしの中で支えあい、助け合う当たり前のことを自然体で行動する勇気と笑顔溢れる地域づくり、小さなさいさな善の種、福の種を蒔き、みんなと共に育ててゆく活動を願っている。

# ひらば

## アンケート調査について



吉田町  
民生委員児童委員協議会  
**中村 一志**

平成二十八年度の活動計画に委員の皆さん の意見を反映させようと今年二月にアンケートを実施しました。

アンケートは、(一)年間活動について、(二)全体会議のあり方について、(三)その他気づいたこと、この三項目について行いました。

高齢者実態把握調査はもう少し簡素化できないか、視察研修や施設訪問のマンネリ化、もっと地域に目を向けた活動を、さらに委員同士のコミュニケーションの場の増加を、定例会の進め方についてなど数多く寄せられました。

早速検討して、これらの中からいくつか今年度の活動計画に盛り込みスタートしました。

とかく事業活動そのものに目が行きがちであると思います。しかし、活動するのは委員の皆さんひとり一人であります。

同じ民児協の一員として活動する中でお互いを知る機会を増やし、意思疎通を図ることにより信頼関係が生まれスムーズな運営に繋がっていくことだと思います。

このアンケートの結果は、全員に配布し定例会で発表しました。

今後の活動計画に少しでも参考になればと願っています。

## 避難勧告等発令時の行動



御前崎市  
民生委員児童委員協議会  
**河原崎 正喜**

一昨年十月の台風18号と19号は、静岡県を通過し御前崎市では避難勧告が発令された。地震や津波に対する要支援者の支援は準備できていたものの、いざ台風が直撃すると多くの委員が混乱し、対応は「まちまち」だったことが、その後の定例会で報告された。

これを受け、避難勧告等が発令された場合の対応を統一すべく、検討プロジェクトチームを立ち上げる事となり、会長より座長を任命され、総勢14名が選任された。

会議は八回開催し、市地域防災計画、市災害時避難行動要支援者避難支援計画、内閣府の指針、民生委員活動の手引きなど、様々な資料を持ち寄り検討を重ねた。

避難行動要支援者名簿に名前は無いが実際には支援が必要な人がいるなど、現状とのギャップを少しづつ埋めて行き、いざという時のためのチェックリストという形で完成させ、委員へ配付することができた。

ただし、台風の接近では、気象庁からの情報に加え、避難準備情報・避難勧告・避難指示等の市災害対策本部からの情報が錯綜する中、山や川や海といった地形的なものを、総合的に判断し避難するタイミングを見極める

事は非常に困難である。

今後は、各地区ごとの検討が必要であるが、一步進んだ思いである。

## 楽しく、生き生き、いたわりあつて



掛川市  
民生委員児童委員協議会  
**水谷 正**

掛川市民生委員児童委員協議会は、民生委員・児童委員178人と主任児童委員14人の合計192人で活動しています。

1、「五節句」へのご招待

江戸時代に「重要な年中行事」として年に5日の式日（祝日）が制定されたそうで、それにならって町内の65歳以上の方を招待して夕、重陽の節句です。

時間を午前11時から午後3時。皆でお食事をしたり、ゲーム、カラオケ、ビンゴなどを楽しめます。参加者一人@300円を徴収、毎回40名程度の参加でとても楽しい会です。

2、「なんでも手伝い隊」今年の4月に設立されました。

公的サービスや各種支援制度の狭間にあります日常的なちょっととした困りごとを住民同士で助け合う活動です。

有料制で、ボランティア報酬は1時間あたり@500円（80歳以上の高齢者世帯は無料）で行っています。今一番の人気は「植木の刈込」です。

ついに65歳以上の高齢者割合（高齢者率）が総人口の4分の1以上になってしまいまし

た。皆で「楽しく、生き生き、いたわり、いくくしみあい、暮らせん社会」になることを心から願っています。

平成28年度 関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会発表要旨

## 「児童委員活動を推進していくために」

「児童委員活動の推進に向けた民児協の取り組みの現状と課題」

静岡県民生委員児童委員協議会 常任理事 西原 茂子

1都10県8政令都市から参加があつた関ブロは、さいたま市で開催されました。

1日目は開会式典、基調報告、

記念講演、次回開催地である新潟県の挨拶。2日目は分科会。

1日目の記念講演ではさいたま市（旧浦和市）出身であるゴダイゴのタケカワユキヒデ氏が養女を育てた体験、「ゴダイゴ」による31ヶ国の海外公演、タイの少数民族への海外協力活動を通じ体験した「常識では判断せず、多様性を受け入れること」としてまとめた講演がありました。

分科会では富士市の実践事例を報告したほか、茨城県発表の小学生4～6年生による「子どもヘルパー」など興味深い事例発表がありました。

○富士市市民児協の実践報告  
「子育てサロンの取組み」

### ■子育てサロンの概要

富士市の天間地区民生委員児童委員協議会では、未就園児と保護者を対象にした「てんま子育てサロン・ころころ」を毎月第2火曜日に開催しています。

親子や地域住民の交流の場を提供することが目的で、絵本の読み聞かせや、手遊び、工作、季節の行事に合わせた遊びなど、さまざまなプログラムを開いています。会場の近くにあ

る高齢者支援とは異なり、各家庭内における状況把握等、掴みにくいくつともあります。どんな子どもにあっても、一番大切なことは自分をこんなにも、大切に愛してくれるお母さん、お父さん、家族、大人の人達がいることを子どもたちに知つてもらう事ではないでしょうか。

■富士市では義務教育中は、学校との連携がとれており、解決できていますが、義務教育終了後の問題を抱える人たちへの相談窓口の設置等が、これからのが課題です。

本誌、静岡県民児協総会の越川会長のご挨拶のなかに、今日、民生委員児童委員がもう少し子どもの問題に力を注ぐ必要性について、ご指導がありました。

### ■子育てサロンの特色

このサロンの特色は、未就園児と保護者が自由に参加できること、会場の近くのグループホームのご利用者にも参加を呼びかけていることです。多くの親子連れとともに、子どもたちが元気いっぱいに遊ぶ姿に目を細め、手遊びなどを一緒に楽しむグループホームのご利用者の姿が会場にはあふれています。

子どもの育成問題については世間に力をお注ぐ必要性について、ご指導がありました。

### 編集後記



私は、この大人と子どもの対峙の「こころ」こそ、計算づくではなく、様々な事例で一人でも多くの子どもを救う一歩の「情」かと、思います。

(杉)